



10月4日、飯野学習センターで10回目となる練習を公開しました。準備完了のひとつま

仲間とともに
その19

小宮の
田植え踊り保存会

練習を観覧した皆さんからは「素晴らしい」「懐かしいね」との声。涙を流すお年寄りの姿もありました。

「ご先祖様がたび重なる冷害を乗り越えてきたようにこの原発災害も乗り越えられるたらと復活を呼びかけたんです」と渡邊守男さん(小宮)。十数年にわたり活動を休止していた保存会のメンバーに話すと、「やってみるか」「活気づけになるよね」と二つ返事が返って来たといいます。8月上旬から小宮のコミュニティセンターで練習を開始。踊りを習っていたかつての子どもたちも、大人になって参加しています。

活動データ

- 昭和51年に復活。小学5年生以上の子どもたちに教えていました。
- その後数十年の活動休止期間を経て今年の夏から活動を再開。
- 北海道小樽市の小樽市民会館で民俗芸能大会(北海道・東北ブロック)に県代表として出演。

表紙 草野・飯樋幼稚園の運動会
秋晴れの下の年中児のかけっこ、迫力のゴールシーンです。P.12の記事もご覧ください。



「福島宣言」を行い手を取り合う県内4町村長。左端が菅野村長



パネル等で村の現状を伝え、物産もPRしました

10/13

「日本で最も美しい村」連合フェスティバル
2014 in きたしおばら

豊かな地域性や美しい景観を持つ55町村・地域が加盟する「日本で最も美しい村」連合。村も加盟するこの団体の年に一度のイベントが、今年も福島県北塩原村で開催され、全国から関係者約300人が参加しました。県内からは本村と北塩原村、三島町と、新たに加盟した大玉村が参加。パネル展示や物販で来場者に各町

村の魅力を紹介しました。また、セレモニーでは、菅野村長ら県内4町村長が、「福島宣言」を発表。全国の仲間と協力し、復興と連携、地域発信を進めると誓いました。さらに交流会では、「いいたていちごランド」のイチゴを使ったデザートなどが提供され、参加者らは復興する「飯館の味」を楽しんでいました。



飯館村は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。